エコアクション２１

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2022年度

（2022年9月～2023年8月）

株式会社　岩田商店

作成日　2023年10月10日

iwata
株式会社 岩田商店

目　次

環境経営方針 …… 1

1　会社概要 …… 2

2　処理工程図 …… 6

3　組織図及び環境管理実施体制 …… 7

4　環境経営目標 …… 9

5　年間環境経営計画 …… 10

6　環境経営目標の実績 …… 11

7　環境経営の取組結果、評価 …… 12

8　環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無 …… 13

9　代表者による全体の評価と見直し・指示 …… 14

環　境　経　営　方　針

［環境理念］

株式会社岩田商店は全員参加のもと、環境に配慮する事業活動を通して、「持続可能な社会の構築」に貢献いたします。

［環境行動原則］

自主的な３Ｒ活動（Reduce：発生抑制、 Reuse：再使用、 Recycle：再資源化）と環境パフォーマンスの継続的改善ならびに環境関連法規の遵守等により、『環境経営の構築と運用』に努めます。

［環境行動指針］

１．二酸化炭素排出量原単位の向上を図る。
　○軽油の使用量を低減のために、エコドライブを実践する。
２．廃棄物のリサイクル率を向上する。
３．使用水量原単位の向上を図るために、個人個人が節水を心がける。
４．グリーン購入の促進。
５．資源物の取扱い量、取扱い種類の拡大を目指す。
６．環境関連法規を遵守する。
７．この環境経営方針を、全社員に周知させるとともに、環境経営レポートを通じ、一般にも公開する。

２００７年１１月　１日　制定
２０２２年　８月２４日　改定

株式会社　岩田商店
代表取締役　岩田　政行

1. 会社概要

1	商号		株式会社　岩田商店
	代表者役職・氏名		代表取締役　岩田政行
	法人番号		3080401000605
2	創業	昭和17年　5月	個人創業
	設立	昭和23年　4月	株式会社岩田商店　法人組織へ変更
3	資本金	1000万円	
4	所在地	本社	〒432-8047　浜松市中区神田町1488番地
		および	TEL 053-441-1110　FAX 053-441-1077
		神田工場	e-mail　info@iwata-st.co.jp
			WEB　http://www.iwata-st.co.jp
		木戸工場	〒432-0806　浜松市中区木戸町20-10
			TEL・FAX 053-463-3141

5	会社経歴	昭和17年　5月	浜松市海老塚町１４１番地にて個人創業
		昭和23年　4月	法人化し、株式会社岩田商店　設立
		昭和38年　5月	海老塚町８５３番地へ増設移転
		昭和41年　5月	資本金５６０万円に増資
		昭和47年　8月	浜松市木戸町２０－１０へ製鋼原料部（木戸工場）を開業
		昭和55年　7月	浜松市上浅田二丁目に古紙センター新築　大型古紙梱包機を導入
		昭和59年　7月	古紙センター隣地にストックヤードを増築
		平成　4年10月	資本金1,000万円に増資
		平成　5年12月	浜松市神田町１４８８番地に古紙センターを移転、同時に営業本部を設置
			大型古紙梱包機を最新鋭機に更新
			古紙選別ラインを新規導入
		平成　8年　5月	旧古紙センターを閉業し、浅田倉庫に改築
		平成17年　6月	神田工場にて産業廃棄物処分業許可取得
		平成19年　9月	古紙商品化適格事業所認定取得（神田工場）
		平成20年　8月	エコアクション21認証取得(全社)
		平成25年　6月	本社工場（海老塚町）を閉鎖し浅田倉庫へ移転、上浅田営業所とする
		平成25年　9月	本社を営業部内（神田工場併設）へ移転
		平成29年　9月	上浅田営業所を閉鎖し、業務は木戸工場へ統合移転

6	環境管理責任者	営業本部　岩田浩輔
		連絡先　TEL　053-441-1110
		FAX　053-441-1077

1. 会社概要

7 事業内容

1 製紙原料の集荷及び選別・加工、販売
2 製鋼原料の集荷及び選別・加工、販売
3 各種非鉄金属原料の集荷及び選別・加工、販売
4 古繊維の集荷及び選別・加工、販売
5 建物解体業務
6 産業廃棄物中間処理業
7 産業廃棄物収集運搬業
8 一般廃棄物収集運搬業
9 機械等撤去及び搬出工事業務
10 工業用ウエス販売

8 事業規模

項目	単位	2020年度 （2020年9月～2021年8月）	2021年度 （2021年9月～2022年9月）	2022年度 （2022年9月～2023年9月）
売上高	百万円	512	606	565
従業員	人	26	26	26
床面積	m2	2567	2567	2567
建設工事件数	件	17	21	21
建設工事売上高	百万円	34	39	17.8
全売り上げ高に占める建設工事比率	%	6.6	7.5	3.1

※上記の通り、全売上高に占める建設工事比率は低いものの、建設工事に伴う副産物（廃木材、コンクリート等）は建設リサイクル法に基づき適切に処理をしている。

9 保有設備および車両

（主要設備の部）

種類および名称	台数	設置工場
ベーラーマシン	1	神田工場
古紙選別ライン	1	神田工場
トラックスケール	2	神田工場・木戸工場
計量コンピューターシステム	2	神田工場・木戸工場
デジタル計量器	1	木戸工場
金属くずプレス機	1	木戸工場
ダブリングシャー	1	木戸工場
空缶磁選別機	1	木戸工場
その他　作業・工作機械類		

1. 会社概要

（運搬車両の部）

種類および名称	能力	台数
塵芥車	最大積載量 1500kg	1
塵芥車	最大積載量 2000kg	4
塵芥車	最大積載量 2200kg	1
塵芥車	最大積載量 2700kg	1
塵芥車	最大積載量 3900kg	3
塵芥車	最大積載量 5600kg	1
脱着式コンテナ専用車	最大積載量 7500kg	2
脱着式コンテナ専用車	最大積載量 4000kg	2
クレーン付車両	最大積載量 6600kg	1
クレーン付車両	最大積載量 3750kg	1
ダンプ車	最大積載量 2000kg	1
ウイング車	最大積載量 6900kg	1
ウイング車	最大積載量 2000kg	1
バン	最大積載量 2000kg	1
平ボデイ車	最大積載量14400kg	1
平ボデイ車	最大積載量 7000kg	1
平ボデイ車	最大積載量 3250kg	1
平ボデイ車	最大積載量 2000kg	1
平ボデイ車	最大積載量 1000kg	1
平ボデイ車	最大積載量 350kg	1
合計		27

（作業車両の部）

種類および名称	台数	設置工場
各種 フォークリフト	7	神田・木戸・発生元事業所
油圧ショベル	2	木戸工場
ショベルローダー	1	神田工場

1. 会社概要

10 業許可内容

名称	許可番号	許可年月日	有効期限
金属くず商許可	静岡県公安委員会　浜中第2号	昭和38年1月21日	
古物商	静岡県公安委員会　第870号	昭和38年1月21日	
廃棄物再生事業者登録	静岡県廃再第27号　古紙の再生　神田工場	平成8年6月18日	
廃棄物再生事業者登録	静岡県廃再第337号　金属くずの再生　木戸工場	平成13年12月20日	
産業廃棄物処分業許可 中間処分（圧縮）	浜松市　06321044226号【優良認定】	令和2年6月9日	令和9年6月8日
	産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず		
一般廃棄物収集運搬業許可	浜松市　第17号	令和4年4月12日	令和6年3月31日
	取扱う一般廃棄物の種類：ごみ（積替え及び保管を含む）		
一般廃棄物収集運搬業許可	袋井市指令環第104-23号	令和4年4月1日	令和6年3月31日
	取扱廃棄物：事業系一般廃棄物（厨芥類・木屑・紙屑・布類）		
産業廃棄物収集運搬業許可 （積替え及び保管行為を除く）	静岡県　02202044226号【優良認定】	令和3年12月10日	令和10年12月9日
	産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ		
産業廃棄物収集運搬業許可 （積替え及び保管行為を除く）	愛知県　02300044226号【優良認定】	令和5年8月7日	令和12年1月14日
	産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず		
一般建設業許可（解体工事業）	静岡県知事（般-2）　第22129号	令和2年6月5日	令和7年6月4日

＊収集運搬業（愛知県）は許可更新手続中

11 処理施設の能力と処理実績

産業廃棄物中間処理（圧縮）施設の能力	
種類	能力
廃プラスチック類	9.528t／日（8時間）
紙くず	167.912t／日（8時間）
繊維くず	51.688t／日（8時間）

受託した産業廃棄物中間処理の実績	
種類	2022年9月～2023年8月
廃プラスチック類	433.95t
紙くず	0.0t
繊維くず	0.0t

産業廃棄物の収集運搬量	
種類	2022年9月～2023年8月
廃プラスチック類	397.0 t
木くず	421.4 t
金属くず	430.2 t
その他	177.0 t
合計	1,425.6 t

12 役員

代表取締役　岩田政行
専務取締役　岩田祥一
常務取締役　岩田浩輔

13 処理料金

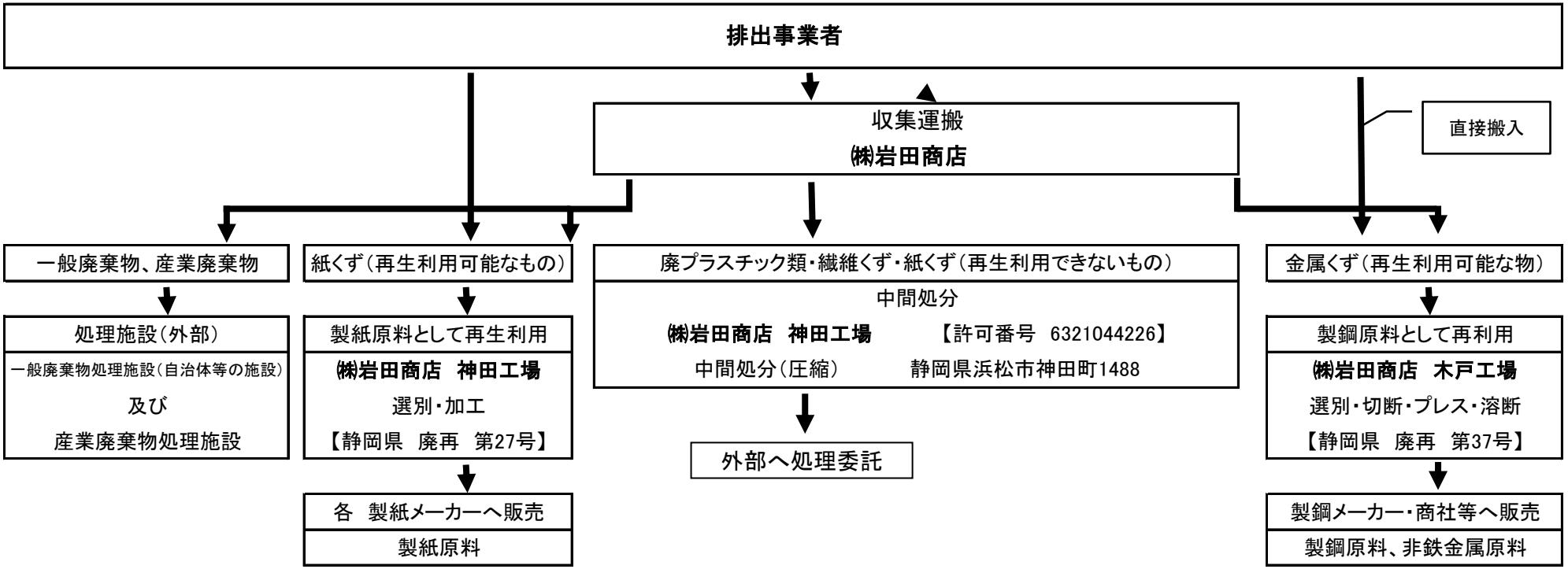
資源物は基本的に有価で買い取り、廃棄物処理の料金は見積書による。

14 エコアクション21対象範囲

全社

2. 処理工程図

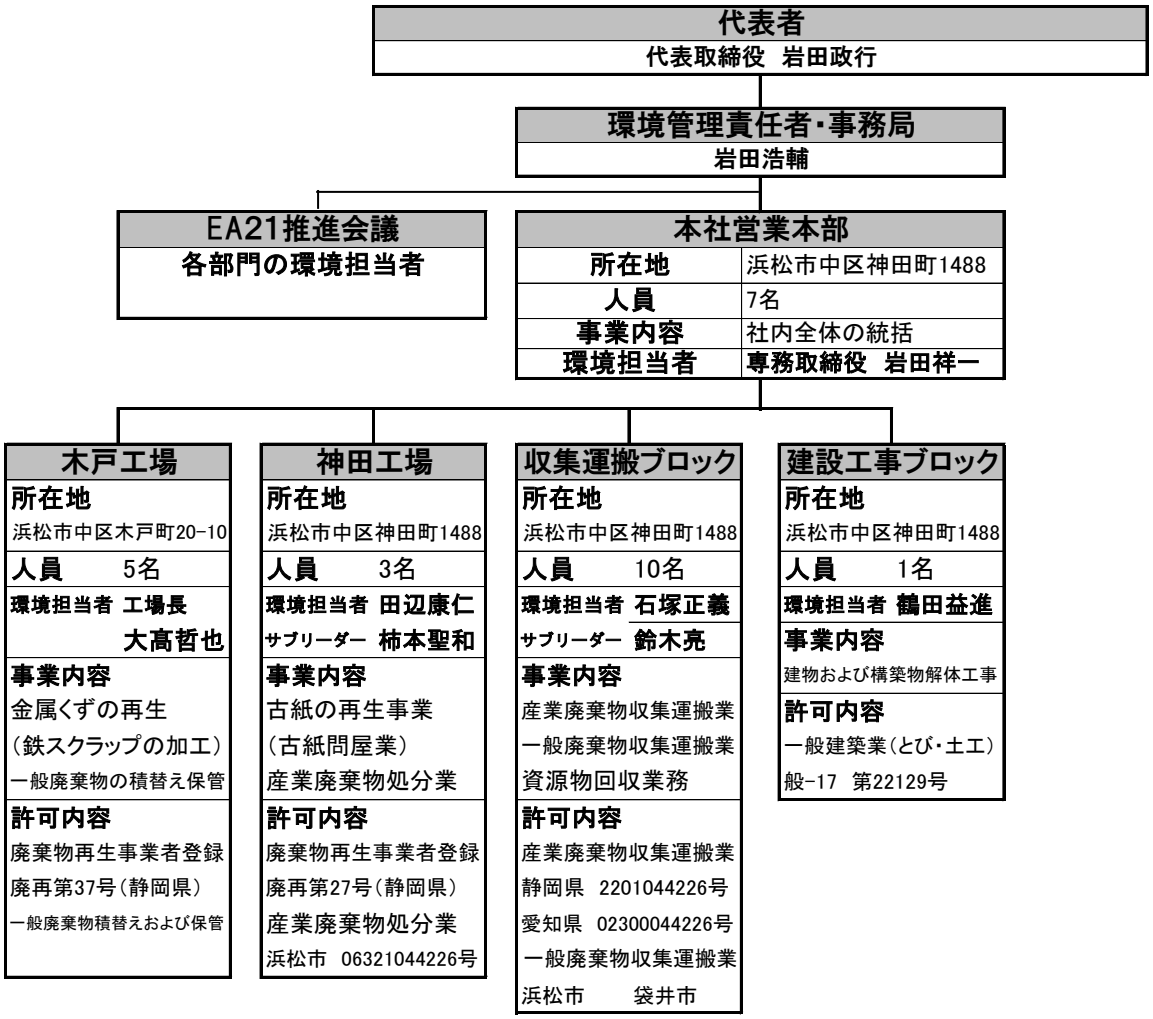
表2


排出事業者
収集運搬
㈱岩田商店
直接搬入
一般廃棄物、産業廃棄物
紙くず（再生利用可能なもの）
廃プラスチック類・繊維くず・紙くず（再生利用できないもの）
金属くず（再生利用可能な物）
処理施設（外部）
一般廃棄物処理施設（自治体等の施設）
及び
産業廃棄物処理施設
製紙原料として再生利用
㈱岩田商店　神田工場
選別・加工
【静岡県　廃再　第27号】
各　製紙メーカーへ販売
製紙原料
中間処分
㈱岩田商店　神田工場　【許可番号　6321044226】
中間処分（圧縮）　静岡県浜松市神田町1488
外部へ処理委託
製鋼原料として再利用
㈱岩田商店　木戸工場
選別・切断・プレス・溶断
【静岡県　廃再　第37号】
製鋼メーカー・商社等へ販売
製鋼原料、非鉄金属原料

3. 組織図及び環境管理実施体制　　３－１　組織図

表3-1

文書更新日2023年10月5日



3. 組織図及び環境管理実施体制　　３－２　環境管理実施体制

表3-2

役職及び担当	責任及び権限
代表取締役 岩田　政行	1　経営における課題とチャンスの明確化 2　環境方針の策定及び見直し 3　環境管理実施体制の構築 4　環境管理責任者の任命 5　環境経営システムの運用・管理に必要な資源の準備 6　全体の見直し、指示
環境管理責任者・事務局 岩田　浩輔　（兼任）	1　環境負荷と環境への取り組み状況の把握・評価 2　環境関連法規等の取りまとめ・遵守状況の確認 3　環境目標の設定及び達成状況の確認・評価 4　環境活動計画の策定、実施状況の確認・評価及び問題の是正 5　環境コミュニケーション 6　環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 7　代表者への環境経営システムの実施状況報告 8　環境会議（EA21推進会議）の開催 9　環境上の緊急事態への準備及び対応 10　収集経路効率化のための状況の確認及び経路の継続的な改善 11　人員の教育訓練の計画・実施（必要に応じ） 12　環境関連文書及び記録の作成
営業本部　部門責任者 専務取締役　岩田　祥一	1　所属する部門の人員への教育及び訓練の実施 2　環境管理システムの実施 3　環境活動の実施及び状況の確認・評価 4　廃棄物の適正処理に向けた顧客及び人員への情報提供・指導 5　建設副産物の削減及び適正な管理 6　部門内での報告・提案の取りまとめ 7　その他
各部門の環境担当者	1　所属する部門の人員への教育及び訓練の実施 2　環境管理システムの実施 3　環境活動の実施及び状況の確認・評価 4　環境上の緊急事態への準備及び対応 5　部門内での報告・提案の取りまとめ 6　その他
環境会議（EA21推進会議）	1　各部門への決定事項の伝達及び指示。 2　各部門の環境管理システムの状況報告。 3　意見の交換及び各部門間の調整、連絡。 4　その他

4. 環境経営目標

表4

項目		目標	基準数値	103期 2021年度目標 (2021年9月～2022年8月)	104期 2022年度目標 (2022年9月～2023年8月)	105期 2023年度目標 (2024年9月～2025年8月)
環境負荷の削減	①	**[二酸化炭素排出量の削減(原単位)]** 売上高に対する二酸化炭素排出原単位を2018年から2020年の直近3年間の実績値の平均を基準数値とし、基準数値から毎年0.1%以上向上させる。 2018年: 685.5 kg-CO_2/百万円 2019年: 722.7 kg-CO_2/百万円 2020年: 694.9 kg-CO_2/百万円	**701** kg-CO_2/百万円 基準数値	**700.2** kg-CO_2/百万円 以下の達成	**699.6** kg-CO_2/百万円 以下の達成	**698.9** kg-CO_2/百万円 以下の達成
	②	**[廃棄物のリサイクル率の向上]** 事業活動に伴って排出される廃棄物のリサイクル率を2018年から2020年の直近3年間の実績値の平均を基準数値とし、基準数値から毎年0.1%以上向上させる。 2018年から2020年の実績値合計 総排出量: 3112.9 t うちリサイクルされた量: 2592.1 t リサイクル率: 83.3 %	廃棄物の リサイクル率 **83.3%** 基準数値	廃棄物の リサイクル率 **83.4%** 以上の達成	廃棄物の リサイクル率 **83.5%** 以上の達成	廃棄物の リサイクル率 **83.6%** 以上の達成
	③	**[上水道の使用量の削減]** 上下水道の使用量を2018年から2020年の直近3年間の実績値の平均を基準数値とし、基準数値から毎年0.1%以上削減する。 2018年: 801㎥ 2019年: 938㎥ 2020年: 815㎥	上水道使用量 **851.3㎥** 基準数値	上水道使用量 **850.4㎥** 以下の達成	上水道使用量 **849.5㎥** 以下の達成	上水道使用量 **848.7㎥** 以下の達成
	④	**[資源物の取扱い量、取扱い種類の拡大]** 再生資源物の取扱量を2020年の実績値を基準数値とし、基準数値から毎年0.1%以上向上させる。	再生資源物取扱量 **15,888t** 基準数値	再生資源物取扱量 **15,903t** 以上の達成	再生資源物取扱量 **15,919t** 以上の達成	再生資源物取扱量 **15,950t** 以上の達成
グリーン購入の促進	⑤	グリーン購入の推進に努める。		グリーン購入の 推進に努める	グリーン購入の 推進に努める	グリーン購入の 推進に努める
地域への環境配慮	⑥	騒音、振動の防止と定期的な監視 視察・見学の受入れ。		騒音、振動の防止と定期的な監視 視察・見学の受入れ	騒音、振動の防止と定期的な監視 視察・見学の受入れ	騒音、振動の防止と定期的な監視 視察・見学の受入れ

※1　二酸化炭素排出係数は0.734-CO_2/kWhで計算
※2　廃棄物のリサイクルは再使用、再生利用、熱回収を合計とし、単純焼却、埋立処分は最終処分として集計する。
※3　廃棄物には中間処理後の廃棄物を含む。

5. 年間環境活動計画

2022年度 環境経営計画

表5

項目	目標		計画内容	担当者
環境負荷の削減	①	**[二酸化炭素排出量の削減(原単位)]** 売上高に対する二酸化炭素排出量を基準数値から毎年0.1%以上向上させる。	1 エアコンの設定温度を適正に保つ	全部門の環境担当者
			2 不必要な照明の消灯	全部門の環境担当者
			3 圧縮機モーターの非稼働時停止(神田工場)	神田工場
			4 車両に不必要なアイドリングの禁止の表示	全部門の環境担当者
			5 エコドライブ教育の実施	岩田浩輔
			6 運搬車両のアイドリングストップの徹底	岩田浩輔
			7 作業車両のアイドリングストップの徹底	全部門の環境担当者
			8 運搬車両のタイヤ空気圧の日常的な点検	全部門の環境担当者
			9 作業車両の日常的な点検	全部門の環境担当者
			10 回収、収集ルート効率化のための見直し	全部門の環境担当者
	②	**[廃棄物のリサイクル率の向上]** 事業活動に伴って排出される廃棄物のリサイクル率を基準年度から毎年0.1%以上向上させる。	1 分別・発生抑制の勉強会	全部門の環境担当者
			2 先進的な廃棄物処理施設への視察	岩田浩輔
	③	**[上水道の使用量の削減]** 上下水道の使用量を基準年度(直近3年間平均)から毎年0.1%以上削減する	1 蛇口に節水の表示	岩田浩輔
			2 朝礼等を利用し、節水意識の向上を図る	岩田浩輔
			3 不要不急の洗車の禁止	全部門の環境担当者
			4 雨水利用の方法の検討	
環境配慮商品・サービスの提供	④	**[資源物の取扱い量、取扱い種類の拡大]** 再生資源物の取扱量を2020年比で毎年0.1%以上拡大させる。	1 積極的な営業活動の実施	全部門の環境担当者
			2 新規取引先(仕入先)の開拓	全部門の環境担当者
グリーン購入の促進	⑤	グリーン購入の推進に努める	1 グリーン購入の推進に努める	岩田浩輔
地域への環境配慮	⑥	騒音、振動の防止と定期的な監視 視察・見学の受入れ	1 必要に応じ、騒音・振動測定を行う	岩田浩輔

6. 環境経営目標の実績

環境経営目標の実績を下にまとめる。

2022年度（2022年9月～2023年8月）環境経営目標の実績

表6

	目標	目標数値	2022年度度実績数値 （2022年9月～2023年8月）	目標の達成状況
①	**[二酸化炭素排出量の削減（原単位）]** 売上高に対する二酸化炭素排出量 を基準数値から毎年0.1%以上向上 させる。	売上高100万円あたり **699.6kg-CO_2** 以下の達成	排出量： 394,621kg-CO_2 売上高： 565百万円 **売上高100万円あたり：697.7kg-CO_2** 【目標を達成】	○
②	**[廃棄物のリサイクル率の向上]** 事業活動に伴って排出される廃 棄物のリサイクル率を基準年度 から毎年0.1%以上向上させる。	廃棄物のリサイクル率 **83.50%** 以上の達成	廃棄物排出量937.93t うちリサイクル量：730.725t **廃棄物のリサイクル率：77.9%** 【目標を下回る】	×
③	**[上水道の使用量の削減]** 上下水道の使用量を基準年度（直近3 年間平均）から毎年0.1%以上削減する	上水道使用量 **849.5㎥** 以下の達成	**使用量：802㎥** 【目標を達成】	○
④	**[資源物の取扱い量、取扱い種類の拡大]** 再生資源物の取扱量を2020年比で毎年 0.1%以上拡大させる。	再生資源物取扱量 **15,919t** 以上の達成	**再生資源物取扱量：14,279t** 【目標を下回る】	×
⑤	**[グリーン購入の促進]** グリーン購入の推進に努める		**平成27年度燃費基準達成車の導入** （塵芥車1台）	○
⑥	**[地域への環境配慮]** 騒音、振動の防止と定期的な監視 視察・見学の受入れ		運用期間中、外部からの苦情、要請 はありませんでした。	○

7. 環境活動の取組結果、評価及び次年度の活動計画

4項目の数値目標のうち2項目が目標を達成することができなかった。
その評価と原因の分析、今後の対策・是正措置に付いては以下の通りである。

表7

目標	取組結果	評価	評価結果	次年度の活動計画
①[二酸化炭素排出量の削減(原単位)] (目標値　売上高100万円あたり699.6kg-CO_2)	売上高100万円あたり 697.7kg-CO_2	目標を達成することができた。昨年に比べ、軽油、ガソリンの消費量は減少したが、電力消費量は2.7%増加した。前年に比べ売上高は減少したが、二酸化炭素排出量が約2.7%削減できたため、原単位の目標を達成できた。今後も引き続き向上に努めて行きたい。	○	エアコンの設定温度を適正に保つ 不必要な照明の消灯 圧縮機モーターの非稼働時停止(神田工場) 車両に不必要なアイドリングの禁止の表示 エコドライブ教育の実施 運搬車両のアイドリングストップの徹底 作業車両のアイドリングストップの徹底 運搬車両のタイヤ空気圧の日常的な点検 作業車両の日常的な点検 回収、収集ルート効率化のための見直し
②[廃棄物のリサイクル率の向上] (目標値　廃棄物のリサイクル率83.5%以上)	廃棄物のリサイクル率 77.90%	解体工事の対象物の変化、アスベストの規制強化のため、埋立処分に回る解体工事由来の廃棄物が増加した。来期も目標は継続し、引き続き向上に努めて行きたい。	×	分別・発生抑制の勉強会 先進的な廃棄物処理施設への視察
③[上水道の使用量の削減] (目標値　上水道使用量849.5㎥以下)	上水道使用量 802㎥	目標を達成することができた。車両の保全の観点から汚れた車両の洗車は推奨しつつも、適正利用つとめていきたい。	○	蛇口に節水の表示 朝礼等を利用し、節水意識の向上を図る 目標の変更を検討する
④[資源物の取扱い量、取扱い種類の拡大] (目標値　再生資源物取扱量15,919t以上)	再生資源物取扱量 14,279t	目標を下回った。コロナ渦により資源物集団回収が縮小されたこともあり、古紙の取扱量減少になった。引続き拡大の努力を図る。	×	積極的な営業活動の実施 新規取引先(仕入先)の開拓
⑤[グリーン購入の促進]	平成27年度燃費基準達成車の導入(塵芥車1台)	車両の更新に際し、燃費基準達成車を購入した。	○	グリーン購入の推進に努める

9. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無

9-1

環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果

以下の通り、遵守状況を確認した結果、問題および違反はありませんでした。 表9

環境関連法規の名称	遵守基準	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	遵守確認
	一般廃棄物の運搬、処分等の委託の基準	遵守確認
	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	遵守確認
	産業廃棄物の運搬、処分等の委託の基準	遵守確認
	廃棄物再生事業者の登録	遵守確認
建設リサイクル法	建物の分別解体及び再資源化	遵守確認
	発注者への説明、報告	遵守確認
	現場における標識の表示	遵守確認
環境保全協定	神田工場の周辺地域の生活環境の保全	遵守確認
消防法	指定可燃物、消防用設備等	遵守確認
浄化槽法	浄化槽の構造および保守点検	遵守確認
自動車リサイクル法	使用済み自動車のリサイクル	遵守確認
家電リサイクル法	小売業者の収集及び運搬	遵守確認
騒音規制法	特定作業、特定施設に係る届出	遵守確認
振動規制法	特定作業、特定施設に係る届出	遵守確認
労働安全衛生法	フォークリフト運転資格等	遵守確認
フロン排出抑制法	簡易点検の実施等	遵守確認
石綿障害予防規則	解体等工事等での事前調査、届出等	遵守確認
静岡県生活環境保全条例	煤煙、粉塵、騒音、振動、悪臭等の規制	遵守確認

9-2

環境関連法規等の違反・訴訟等の有無

期間中、関係機関からの指摘はありませんでした。また、苦情・訴訟についてもありませんでした。

10.　代表者による全体の評価と見直し･指示

①　数値目標に対する個別評価

1.　[二酸化炭素排出原単位の向上]について

目標を達成することができた。
昨年に比べ、軽油、ガソリン等の化石燃料の消費量は若干減少したが、電力使用量が約2.7%増加した。猛暑の影響もあるとは思うが、引続き節度ある空調の使用を心がていきたい。また、2023年3月に神田工場内の水銀灯17基をLEDへの更新を行った。今後二酸化炭素の排出低減への寄与を期待する。今後も売上高及び取扱量の拡大をを図りつつ、二酸化炭素排出排出量に注意をし目標を達成していきたい。

2. [廃棄物のリサイクル率の向上]について

目標を下回った。
主な排出源である建物解体工事では、今年火災に罹災した建物の解体で埋立処分になった廃材が増加した。また、アスベストの規制強化で埋立に回る廃材が増加したため、目標未達となった。来期も目標は維持しつつ、引き続き向上に努めたい。

3. [上水道の使用量の削減]について

目標を達成することができた。
車両の保全の観点から汚れた車両の洗車は推奨しつつも、節度ある水道の利用につとめていきたい。

4. [環境配慮製品・サービスの提供]について

目標を下回った。
コロナ渦の長期化により資源物集団回収が中止・規模の縮小が多数あり、古紙の取扱量減少になった。引続き拡大の努力を図る。
古紙の発生量も減少傾向にあるなか、次年度以降も引き続き取扱量を拡大するよう努力したい。環境配慮製品・サービスの提供は本来業務である再生資源の取扱いであるため、今後も売上高及び取扱量を高めていきたい。

６．[グリーン購入の推進]について。

エコマーク等の環境ラベルを参考にし、費用対効果の観点も含め進める。

②　代表者のコメント

今季は数値目標を達成した項目が複数あった事には大いに評価をしたい。一方、売上高は資源物相場の軟化もあり前年に比べ若干減少した。今後もこの活動を通じ、売上の向上や経費削減、無駄の排除を行い業績の向上につなげ、地域社会の信頼を受け社会に貢献できる企業となるよう引き続き努力をしていきたい。

2023年10月10日
株式会社岩田商店
代表取締役　岩田政行